



【記者発表資料】

平成 27 年 8 月 10 日

九州地方整備局

外航クルーズ船の受入を円滑化するための先導的事業検討調査を 八代港で実施

九州地方整備局では、外航クルーズ船の受入を円滑化するための先導的事業検討調査を、八代港において実施します。

世界のクルーズ人口が増加する中、特にアジアでは、中国の経済成長とともにクルーズ人口が急増しており、大型クルーズ船のアジア配船も増加しています。

九州管内に寄港するクルーズ船についても船型の大型化、寄港数の増加が顕著であるため、既存の物流ターミナル等を利用しつつ、受け入れを行っています。

一方で、既存の物流ターミナル等におけるクルーズ船の受け入れは、ふ頭における貨物の物流導線と、クルーズ客の人流導線の交錯を防ぎ、調整の取れた利用計画のもとに円滑かつ安全にクルーズ客の受け入れを図る必要があります。

そこで、当局においては、今年度より物流ターミナルで大型クルーズ船の受け入れを本格的に開始した八代港において、クルーズ船の円滑な受け入れやクルーズ客の利用環境の改善を図るための貨物と旅客の導線分離等の計画を策定し、現地において当該計画の実証を行います。

なお、実証内容や実証日については、港湾管理者や地元関係者との調整を行った上で決定していきます。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

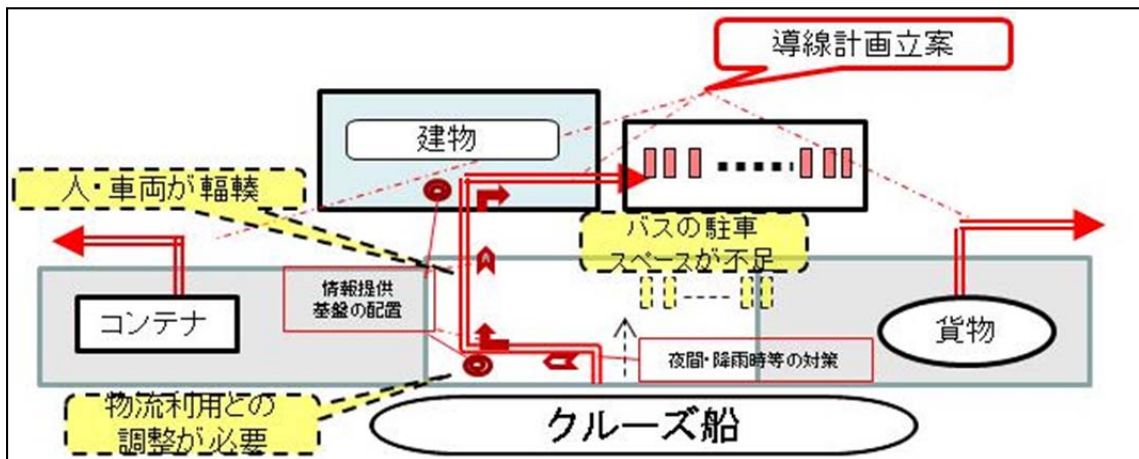
港湾物流企画室 室長
課長補佐荅口 聖史 (こけぐち きよし)
的野 賢司 (まとの けんじ)

TEL : 092-418-3379 FAX : 092-418-3037

【参考】



【位置図】 八代港・先導的事業検討調査実施予定箇所



【イメージ図】 八代港・先導的事業検討調査の概要

寄港日	クルーズ船名	総トン数（乗客定員）
H27. 6. 14	スカイシー・ゴールデン・エラ	7.2万トン（1,814人）
H27. 6. 29	ボイジャー・オブ・ザ・シーズ	13.7万トン（3,114人）
H27. 7. 6	ボイジャー・オブ・ザ・シーズ	13.7万トン（3,114人）
H27. 7. 23	クァンタム・オブ・ザ・シーズ	16.7万トン（4,180人）
H27. 8. 12	レジェンド・オブ・ザ・シーズ	6.9万トン（1,804人）
H27. 8. 12	マリーナ・オブ・ザ・シーズ	13.7万トン（3,114人）
H27. 8. 29	ボイジャー・オブ・ザ・シーズ	13.7万トン（3,114人）
H27. 9. 20	クァンタム・オブ・ザ・シーズ	16.7万トン（4,180人）
H27. 10. 1	クァンタム・オブ・ザ・シーズ	16.7万トン（4,180人）

【入港一覧表】 平成 27 年八代港のクルーズ船入港予定（8月以降は予定）